

ID&Eホールディングス サステナビリティ・ゴール
(2045 年のありたい姿)

ID&E ホールディングス・グループ (以下 ID&E グループ) は、グループ・ミッションである「世界をすみよくする」の実現に向けて、長年にわたり、人々の命や暮らし、幸せに直結する国内外での社会資本の整備や社会課題の解決に取り組んできました。

今、世界は歴史的な転換期を迎えています。社会の分断・格差、紛争・テロの頻発、気候変動に伴う異常気象や自然災害の激甚化など、複合的な危機が新たな課題を生み出し、人々の生活や企業の活動を取り巻く環境に大きな不確実性をもたらしています。

設立母体である日本工営の時代から、「誠意をもってことにあたり、技術を軸に社会に貢献する。」という経営理念のもとで活動してきた ID&E グループは、この歴史的な転換期に、「サステナビリティ」を経営の根幹に据えます。

不確実性が高まる時代の中で、多様な技術とグループの「総合力」を活かし、これまで以上に世界から選ばれる「持続可能な環境・社会づくりのプロフェッショナル集団」を目指します。そして、地球上の人々やさまざまな生物が共生する世界を、ステークホルダーの皆様と共につくります。

策定 2024. 5. 15

改訂 2025. 5. 27

2026. 3. 19

[更新時期]：サステナビリティ・ゴールを含む ID&E グループのサステナビリティ経営フレームワークは、サステナビリティに関連する国際的な動向や社会的要請の変化、グループのマテリアリティの見直しなどを踏まえて、適宜更新していく予定です。

補足説明：

2045 年をゴールの達成目標年とした背景：現在、多くの国や地域で、脱炭素を含む各種ネットゼロ達成の目標年が2050 年に設定されている。また、ID&E ホールディングスの設立母体である日本工営が 2046 年に創立 100 周年を迎えることを踏まえて、ID&E グループでは 2045 年をサステナビリティ・ゴールの達成目標年とした。